



熊本再春医療センター医療連携室だより



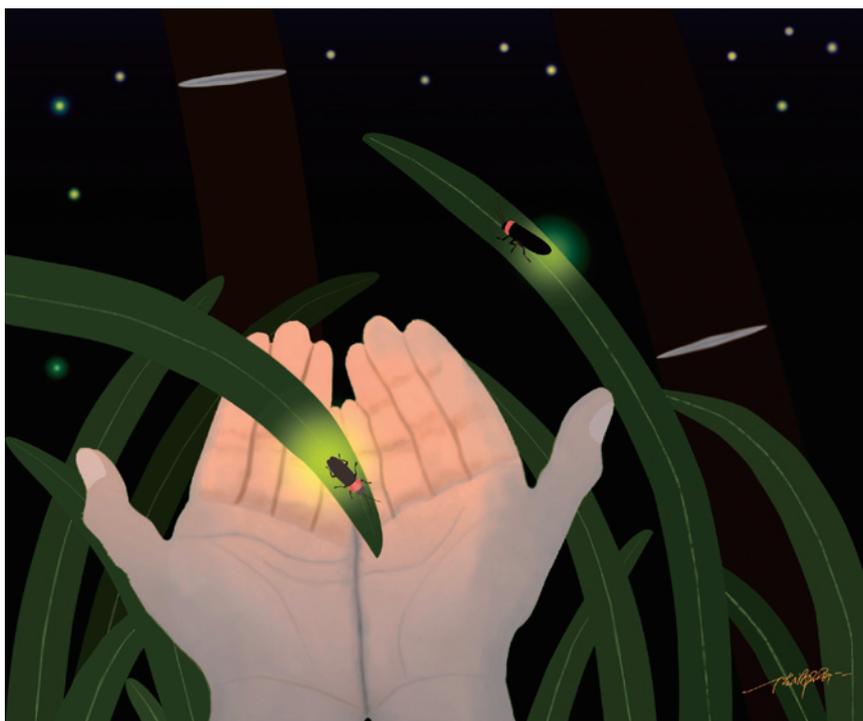
再春

令和元年 第1号

発行所：熊本県合志市須屋2659番地
熊本再春医療センター
編集：医療連携室

KUMAMOTO SAISHUN MEDICAL CENTER

熊本再春医療センターホームページ <https://saisyunso.hosp.go.jp/>



今回も当院入院中のI様から立派なCGを戴きました。I様いつもありがとうございます。
熊本県菊池市は“ホタルの里”と呼ばれ、6月にはゲンジボタルが見事な乱舞を見せてくれます。

病院の理念

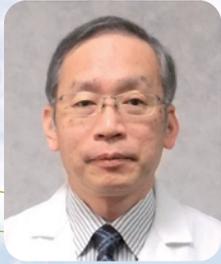
わたしたちは
患者さまひとりひとりの人権を尊重し
思いやりの心を持って
安心と信頼の医療を
提供します

病院運営の基本方針

1. 患者さま中心の医療
2. 専門知識及び技術の向上
3. チーム医療の推進
4. 地域医療連携の推進と地域への貢献
5. 経営基盤の安定

Contents

1. 院長就任あいさつ 2
2. 病院名変更のお知らせ 3
3. 新病院建替進捗（Ⅱ期工事） 3~4
4. 開放型病院登録医紹介【米田産婦人科医院】... 4
5. 病棟・部門紹介【西4病棟】 5
6. 開放型病院登録医紹介【古賀医院】 5
7. 病棟・部門紹介【リハビリテーション科】 6
8. 看護フェスタ 再春報告 6
9. 医療連携の集い報告 7
10. 新任スタッフ紹介 8~10



新任のご挨拶

病院長 上山 秀嗣

今年は例年になく見事に咲いた桜の花々も散り、代わって新緑が息吹く季節となりました。皆様には平素より医療連携に多大なご協力、ご支援をいただきまして感謝申し上げます。

さて、平成18年に済生会熊本病院より臨床研究部長として着任され、平成27年4月より4年間にわたり院長として当院の発展に大きく貢献されました米村 憲輔先生が、本年3月末をもって定年退職されました。米村先生は、地域包括ケア病棟の開設を始めとして、新病院の建設準備、熊本地震に対する対応など、数多くの功績を残されました。4月からは後任として、副院長の上山 秀嗣（脳神経内科）が10代目となる院長に昇任する事となりましたのでお知らせ申し上げます。

当院は、長い間「独立行政法人国立病院機構熊本再春荘病院」として皆様に親しまれてきましたが、この度、平成31年4月1日より病院名を「独立行政法人国立病院機構熊本再春医療センター」と名称変更致しました。これまで同様に政策医療を推進する一方で、熊本県北部地域の救急急性期医療を担う中核病院として努めていきますとともに、地域医療の更なる発展に貢献していく所存でございます。そして、平成28年10月より着工しました新

病棟・外来棟の立替整備工事ですが、平成31年6月に竣工し9月より運用開始となる予定です。新耐震基準に適合した8階建ての鉄骨建物で、地域のランドマークとなれるよう皆様とより緊密な医療連携を図って参りたいと思います。

また、長年にわたり放射線科部長として病院に貢献して頂きました古閑 幸則先生が定年退職され、放射線治療の担当医は不在となるため、平成30年度をもちまして当院の放射線治療は終了する事となりました。

本年度はまず副院長に緒方 宏臣整形外科部長が昇任しました。また、呼吸器内科医長として中村 和芳医師、整形外科医師として今村 悠哉医師、福田 雅俊医師、後藤 裕之医師、谷村 峻太郎医師、小児科医師として小山 真輝医師、放射線科医師として岩下 孝弥医師を迎えました。

今後も熊本県地域医療支援病院、熊本県指定がん診療連携拠点病院、熊本県難病診療分野別拠点病院、そして3月より新たに指定されました熊本県地域医療拠点病院として、責任ある地域医療への貢献に努めてまいりますので、皆様には今後とも変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

病院名変更のお知らせ

病院長 上山 秀嗣

日頃より、皆様には当院の運営に関してご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

当院は、長い間「独立行政法人国立病院機構熊本再春荘病院」として、皆様に親しまれてきましたが、この度、平成31年9月予定の新本館棟の開棟を控え、平成31年4月1日より「独立行政法人国立病院機構熊本再春医療センター」と病院名を変更することとなりました。

当院は、これまで同様、政策医療を推進する一方で、熊本県北部地域の救急急性期医療を担う中核病院としての医療に努めていきますとともに、地域医療の更なる発展に貢献していく所存でございます。

今後とも変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

併せまして、日本神経学会の指示により、標榜診療科名を「神経内科」から「**脳神経内科**」に変更しましたので、お知らせ申し上げます。

— 記 —

1. 新病院名 **独立行政法人国立病院機構熊本再春医療センター**
National Hospital Organization Kumamoto Saishun Medical Center
2. 変更日 **平成31年4月1日**
3. その他
 - ・電話番号、住所、FAX番号等には変更ありません。
 - ・お手持ちの診察券は、病院名変更後も使用できます。

病院建替え工事（Ⅱ期工事）の進捗状況

企画課長 橋本 和明

前号では8階までの建物の骨格ができ、外部足場に囲まれて外壁工事や各階の間仕切り工事が行われているところまでお知らせしておりましたが、現在は、足場も無くなり、外観的には完成した建物のように見えるようになりました。

それでは前回以降、現在までの工事の状況をお知らせします。

まず外部工事ですが、外壁板の取り付け工事は12月中旬に完了し、アルミサッシ等の取り付けが1月中旬に完了しました。外壁塗装は西、北、東、南の順に下層階より行い、塗装が完了した部分から外部足場が解体されていき、2月末には塗装工事が

完了し外部足場が全て無くなり本館棟がきれいに見えるようになりました。

また、外部足場の解体にともない、外壁西面に取り付けられた熊本再春医療センターのサインも見えるようになりました。

次に内部工事ですが、外壁工事や間仕切り壁の工事の進行に併せ、内壁、天井に耐火被覆材の吹き付け、発泡ウレタン（断熱材）の吹きつけ工事が2月末まで行われていきました。

そして、処理が完了したところから各部屋の壁、天井の軽量鉄骨下地を組み、ボードを貼り、そのボードに塗装をしたり、クロスを貼ったりといった

工事が進められています。

これらの工事が完了したところから床のシート貼りが行われ、部屋の内装が完了となります。

内装工事が完了したところに各部屋の家具や機器の取り付け、部屋の扉などの取り付け工事が進められており、完成間近となっています。

また、外構工事では地域研修センター(旧看護学校間)の解体工事が2月から3月にかけて行われ、本館棟北側に身体障害者用の駐車場と駐輪場の整備が行われています。

全ての工事が完了するのは5月末を予定しており、6月には各種検査や機器の調整などを行い、7月に病院へ引き渡しが行われる予定で進められています。

Ⅱ期工事もまもなく完成となりますが、引き渡しから開棟までの2ヶ月間に医療法等の検査、諸手続や新しい機器、物品の搬入、開棟式典、内覧会そして移転(引越)と慌ただしいスケジュールとなりますので、無事に開棟が迎えられるよう調整しながら進めて参ります。



開放型病院登録医紹介

米田産婦人科医院

院長/米田 義典

菊池市隈府497-1

TEL 0968-25-2589 FAX 0968-25-1519

診療内容/産科、婦人科、麻酔科

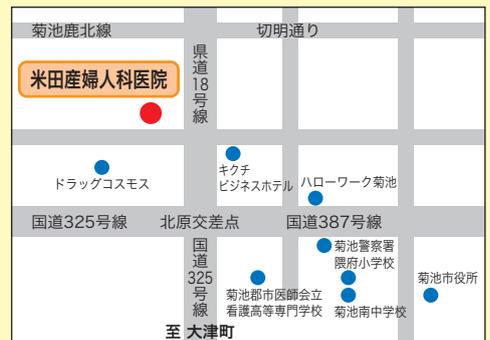
診療時間/ 8:30~12:30

14:00~18:30

診 察 日	月	火	水	木	金	土	日
8時30分~12時30分	○	○	○	○	○	○	×
14時00分~18時30分	○	○	○	○	○	×	×

米田産婦人科医院 米田院長先生には、平成23年7月より当院開放型病院登録医として、多くの患者さまを紹介いただいております。

昭和35年に菊池市に開業され、産科・婦人科を主体として、地域の多くの患者さまの診療をされております。患者さまに寄り添った温かみのある診療の提供に努められております。



病棟・部門紹介 No.3

西4病棟のご紹介

西4病棟看護師長
積山 佳史

西4病棟は、呼吸器センターとして、肺炎・喘息などの急性呼吸器疾患や、肺気腫・慢性閉塞性肺疾患（COPD）などの慢性呼吸器疾患、肺がん等の腫瘍性疾患の患者さんに対して治療・看護を提供しています。平成30年度の入院患者数は979名でした。在宅や施設、他病院からの紹介など、入院されるまでの経緯は様々ですが、私たちは患者さんに対して安心した入院生活が送れるよう、質の高い看護の提供を目指しています。

平成30年度の入院患者さんの平均年齢は75.3歳でしたが、これから更なる高齢社会へと進む中、患者さんの平均年齢も増していくことが予想されます。高齢化による身体機能の低下は避けられず、嚥下機能も年齢を重ねるに従い低下していきます。高齢の患者さんには誤嚥性肺炎を繰り返す方も多く、治療と同時に大切なのは予防に対する対応となります。そのため、西4病棟では肺炎の治療と並行して多職種（言語聴覚士、摂食嚥下障害看護認定看護師）と連携をとり、嚥下機能に合わせた食事形態、食事姿勢、食事援助方法の実践をしています。また、退院前の家族への食事介助指導や施設職員、ケアマネージャーへの情報連携、退院前カンファレンスの開催など退院後の生活を意識した取り組みを行っています。



入院中のみならず、退院後を意識した関わりを持つことを大切に、これからも患者さん・ご家族へ安心・安全の看護に尽力します。

開放型病院登録医紹介

古賀 医院

院長／古賀 毅

菊池市泗水町吉富1935

TEL 0968-38-2222 FAX 0968-38-3242

診療内容／内科、循環器科、糖尿病科、介護病床

診療時間／ 9:00～13:00

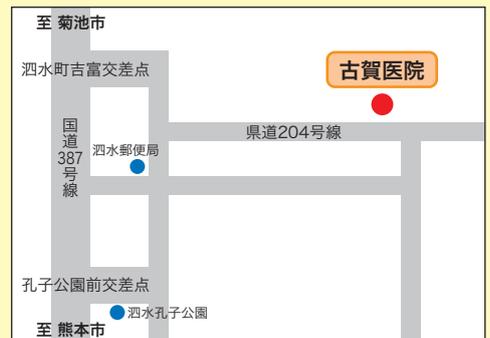
14:00～17:00（土曜日は14:00～15:00）



診察日	月	火	水	木	金	土	日
9時00分～13時00分	○	○	○	○	○	○	×
14時00分～15時00分	×	×	×	×	×	○	×
14時00分～17時00分	○	○	○	○	○	×	×

古賀医院 古賀院長先生には、平成23年7月より当院開放型病院登録医として、多くの患者さまをご紹介いただいております。

菊池市泗水町に開業され、内科系を主体として地域の多くの患者さまの診療をされております。また、往診や訪問診療など患者さんに寄り添った医療にも貢献されております。



病棟・部門紹介 No.4

リハビリテーション科のご紹介

理学療法士長
坂本 浩樹

平成31年度のスタッフは、医長1名、理学療法士16名(熊本市市民病院スタッフ2名含む 8月まで)、作業療法士5名、言語聴覚士2名、クラーク1名の合計25名体制で取り組んでいます。療法士の平均年齢は34歳、臨床経験年数は平均11年です。

リハビリテーション科は“ひとりひとりの患者さまのQOLを向上し、その人らしく家庭や地域、職場において参画できるように質の高いリハビリテーション医療を提供します。”を理念とし、患者さま中心の医療の実現を目指しています。また病院の方針に基づき、各種疾患の早期リハビリから、政策医療の維持期リハビリまで幅広い活動を展開しています。施設基準は、脳血管疾患等リハビリテーションI、運動器リハビリテーションI、呼吸器リハビリテーションI、心大血管疾患リハビリテーションI、廃用性症候群リハビリテーションI、がん患者リハビリテーション、障害児(者)リハビリテーションを有しています。対象患者は原則、入院中の患者のみです。一部外来で小児、パーキンソン病に対するLSVTを行っています。土日は交代で勤務し、術後の早期離床を目的にリハビリを行っています。ゴールデンウィークや正月は連続3日の休みが生じないように交代で勤務しています。

当院は7月に新棟が完成し9月に引っ越しを行います。新病院のリハビリテーション室は2階になり、屋外にはリハビリ庭園も有しています。日々、機能改善に取り組んでおられる患者さまにとって阿蘇の山々を眺め自然豊かな風景を楽しみながら訓練を行う事は意欲が沸き立ち、能力の維持向上・目標達成へ繋がるものと考えています。

これからも患者サービスの向上に取り組み、自部門の特定を生かして組織横断的活動を推進し、多職種協働をより一層の行っていく所存です。地域の方々と「顔の見える関係」を忘れず、お互いを理解し、時代の変化に柔軟に対応し、患者さまの目的を少しでも達成できるように皆さんと共に進んでいきたいと考えております。今後ともよろしくお願いいたします。



看護フェスタ 再春

副看護部長 田中 陽子

看護週間である2019年5月17日に合志市総合健康センターユーパレス弁天で、第6回看護フェスタ再春を開催致しました。認定看護師4名(認知症看護認定看護師、感染管理認定看護師、摂食嚥下認定看護師、糖尿病看護認定看護師)を含む18名の看護師が、血圧測定、血糖測定、認知症予防体操やAED体験などを企画し実施致しました。地域の方々との交流を通して、看護について知って頂く機会となりました。また、少子高齢社会において健康寿命を延



ばすためには生活習慣病の予防が必要であることや人生の最終段階をどのように迎えるか考えておくことが重要であるため、パンフレットを

作成して一緒に考えるきっかけづくりをさせて頂きました。参加された方々から、「食事が不規則なので、気軽に血圧や血糖が測れて良かった。」「自分の生活習慣は、意識しないと忘れがちなので良い機会になった。」とお言葉を頂き、笑顔もみられ充実した時間を過ごして頂けたことを実感致しました。

当院は、9月に新病院へ移転致します。その紹介ポスターを見て、当院に期待して頂いている声も聞くことができました。これからも地域の方々と触れ合うことで当院のこと、そして看護のことも知って頂けるように心が通じ合えるような活動を行っていききたいと思います。



第11回『医療連携の集い』

副院長 緒方 宏臣

令和元年6月1日(土)、ホテル日航熊本において第11回熊本再春医療センター医療連携の集いを開催いたしました。やや蒸す一日でしたが、幸い大きく天気も崩れることなく執り行うことができました。当日は院内外含め195名の参加があり、盛況のうちに終了することができました。この場を借りてあらためて御礼申し上げます。

例年通り開放型病院運営連絡協議会、地域医療支援病院諮問委員会に引き続いて、5階「天草」の間において講演会を行いました。まず上山院長はじめ、副院長、看護部長、事務部長、経営企画室長が新任幹部として自己紹介を行ったのち、副院長より「診療支援部からのお知らせ」を行いました。本年4月1日より病院名が『熊本再春医療センター』へと変更になったこと、神経内科の標榜が『脳神経内科』と変わったことをご報告しました。また継続報告している病院建て替え事業に関しては、2期工事がやがて終了し9月には新本館棟への引っ越し、運用開始の予定であることをお知らせしました。特別公演は上山院長が座長を務め、脳神経内科医長の栗崎 玲一医師により「パーキンソン病の医療連携～知っておきたいbrand-new information～」としてパーキンソン病治療の基礎から最新情報までをわかりやすく講演していただきました。その後「阿蘇」の間にて意見交換会が行われました。上山院長の開会のあいさつに引き続き、新しく菊池郡市医師会会長になられた柴田 堅一郎先生に来賓挨拶と乾杯の御発声をいただきました。宴も盛り上がり、大原診療支援部長の診療科紹介後に、前院長の米村 憲輔名誉院長より締めのお言葉を頂き、盛会のうちに終えることができました。

今年の『医療連携の集い』は令和になって初めて、病院名が『熊本再春医療センター』になって初めて、上山院長以下、新任幹部就任後初めて、と初めてづくしの会でした。無事終わることができ、改めて御礼申し上げます。また7月には新本館棟の完成記念式典、9月には引っ越しとあわせてまいります。引き続き皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

来年は第12回の『医療連携の集い』をホテル日航熊本にて開催予定です。多数の皆様のご出席をお待ちしております。



診療支援部からのお知らせ：緒方副院長



特別講演：栗崎脳神経内科医長

採用・異動職員からのごあいさつ

■ 医師

統括診療部 呼吸器内科医長 中村 和芳

4月1日に赴任しました呼吸器内科の中村和芳と申します。前任地は熊本大学医学部附属病院呼吸器内科です。当院には4年ぶりにお世話になります。各部署の皆様にご温かく迎えて頂き心より感謝申し上げます。

前任地では、外来医長、病棟医長、国際喘息学会事務局、興梠教授退官記念誌の編集委員などを務めました。

当院では前回同様、ICT委員長を拝命しました。医師20年目の節目の年に歴史と伝統のある熊本再春医療センターで勤務できることを光栄に存じます。医師としても人間としてもまだまだ未熟ではございますが、精一杯頑張りますので、皆様、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

統括診療部 放射線科医師 岩下 孝弥

4月1日から放射線科で勤務しております。岩下孝弥と申します。

昨年度までは国立病院機構熊本医療センターで勤務しておりました。

当院は先生方やスタッフの方々がとても優しく、温かい雰囲気の中で非常に働きやすい環境で充実した日々を過ごさせて頂いております。

地域の皆様にご信頼される医療を行えるよう、頑張ってお参ります。

どうぞ宜しくお願い致します。

統括診療部 整形外科医師 今村 悠哉

整形外科の今村悠哉です。熊本大学の整形外科に入局してちょうど10年目となります。一昨年はここ熊本再春荘病院で勤務し、昨年は済生会熊本病院で勤務、そして今年病院名が変更となった熊本再春医療センターで勤務させて頂くこととなりました。今年は熊本再春医療センターの整形外科医7名中4名が変わっており、特にまだ慣れていない4月、5月は近隣の先生方、医療機関にはご迷惑をおかけすることが多々あるかと思っております。しかしその中で私は前回の勤務から間が一年しかあいておらず、他の3名と比較すると慣れている部分は多少あるはずですので、早く勤務に慣れて東北の医療に貢献できるように頑張りたいと思っております。

統括診療部 整形外科医師 福田 雅俊

はじめまして。熊本大学病院から異動となり4月より熊本再春医療センターで勤務することになりました福田雅俊と申します。地元は熊本で熊本大学を卒業し、平成23年より熊本大学病院整形外科に入局いたしました。まだ勤務して間もないですが、熊本再春医療センターはスタッフ間の連携がしっかりしており、アットホームな雰囲気で大変働きやすい環境であると実感しております。

一人一人の患者様に親身になって向き合い、痛みを取り除くことで患者様の身体機能回復のお助けができればと考えております。整形外科医としてはまだまだ未熟者ではありますが、地域医療に貢献できるように精一杯がんばりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

統括診療部 整形外科医師 後藤 裕之

整形外科の後藤裕之と申します。出身大学は熊本大学で、大学では空手部に所属しており、毎日練習に明け暮れていました。大学卒業後、初期臨床研修終了後に熊本大学整形外科に入局しました。昨年までは熊本赤十字病院に勤めており、本年4月より当院に新しく着任させて頂きました。

熊本再春医療センターは熊本県北部地域の救急急性期医療を担う中核病院ですので、その一員として責任を持ち、少しでも地域医療に貢献できるように努めたいと思っております。

卒後5年目でまだまだ勉強させて頂く立場ですので、いろいろな場面で迷惑かけることが多々あるかと存じますが、一日でも早く仕事になれて戦力になれるよう精進したいと思います。

よろしくお願い致します。

統括診療部 整形外科医師 谷村 峻太郎

この度、4月より1年間熊本再春医療センターに整形外科医として勤務させて頂くこととなりました、医師5年目の谷村峻太郎と申します。昨年度は同じ国立病院機構の熊本医療センターにて勤務しておりました。当院は、急性期から回復期まで幅広い症例を経験できる病院という印象が強く、これまで急性期を中心に診療していた私としては非常に勉強になる1年になると思っております。まだまだ未熟で皆様にご迷惑をおかけすると思っておりますが、少しでも患者さんの力になれるように日々精進して参りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。1年間という短い期間ではありますがよろしくお願い申し上げます。

統括診療部 小児科医師

小山 真輝

はじめまして。小児科の小山真輝（おやままき）と申します。現在医師四年目、小児科二年目です。小児科一年目は熊本大学病院に勤務していました。こちらの病院に来て、まず一番に桜の美しさに感動しました。絵を描くことが趣味なので、周辺の自然の多さにも感動しています。また、異動して半月も経っていませんが、職員の皆さんのあたたかさを感じる毎日です。大学病院とは疾患も環境も大きく異なり、慣れないことも多く戸惑うこともあります。皆さんの御気遣いと小児科の先生方の手厚い御指導の元、楽しく診療ができています。このような環境で働けることをたいへん嬉しく思います。

まだまだ未熟ですので御迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、まずは子どもをしっかり診れるように頑張ります。半年と短い間ではありますが、どうぞ宜しくお願い致します。

■ コメディカル

放射線科 診療放射線技師長

高橋 晃

この4月1日に福岡病院から移動となりました。放射線科の高橋です。

この熊本再春医療センターは私にとってとはとても縁の深い病院でして、平成13年に主任として1回目の再春荘病院勤務となり、その後平成16年に副技師長として2回目。で、今回が技師長として3回目の着任となりました。九州管内機構病院の放射線技師で3回も同じ施設で勤務を経験するのは、おそらく初めて(?)なのではないでしょうか。

そんな縁深い病院に着任して早々待っているのが、新棟への移設です。放射線科の場合、装置の移設の際は法令的な手続きなど何かと大変な作業があるのですが、私は3年前に佐賀病院で移設の経験をしましたので、その時のことを思い出しながら滞りなく移設を完了出来ればと思っております。

これから、どうぞよろしくお願い致します。

■ 看護部

看護部 看護部長

藤丸 由美子

独立行政法人国立病院機構熊本再春医療センター看護部長を拝命致しました。

平成から令和へと新しい時代が動き出しました。少子超高齢の進展のなか、当院は政策医療と救急急性期を担う地域中核病院として、ますます地域からも期待されています。

このたび当院は、2019年4月に熊本再春荘病院から名称が変わり、2019年9月には新病院オープン予定です。このように多くの変革の時期に、看護部長として果たす役割は大変重要であると期待と責任の重さを感じています。看護部の役割は、まず新病院につなぐ安全安心な移転と看護の提供です。新しい病院にふさわしい知識・技術・態度の向上が大切であり、温かい看護ができるよう倫理感性を高く持ち、多職種と連携しながら患者さんの目線に立った医療環境を整備していけるよう取り組んでいきます。

私は、看護師長に昇任して当院に2001年から6年間在任致しました。育てて頂いた感謝の気持ちを持ち続けておりました。13年前に当時の看護部長をはじめ異動者とともに植樹した桜海棠の花が、このたび伝統ある桜並木の一角で満開の花を咲かせていました。これまで先代の方々が培ってこられた、「再春の心」を大事にしながら新しい波に進んでいきます。

さらなる皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い致します。



西3病棟 看護師長

園田 喜子

はじめまして、鹿児島医療センターより転勤してまいりました。地元は熊本で5年ぶりに帰ってまいりました。

今年は赴任した時期が当院の名所の一つである桜のアーチがほぼ満開の状態、広大な敷地に緑が多い素晴らしい光景に感動し、記念写真を何枚も撮りました。

西3病棟は政策病棟で、これまで経験した病棟とは状況が異なり大変戸惑っていますが、病棟スタッフをはじめ先生方、多職種の方に支えていただいております。大変感謝しております。長期療養される患者さんもおられ、入院中は生活環境を整えることや、退院後はその人らしく生活できることを考えた地域との連携が非常に重要な役割であると感じております。

知識経験不足で、多方面にご迷惑をおかけすると思いますが、早く熊本再春医療センターに馴染み、皆様と一緒によい看護の提供や、スタッフが働きやすい環境づくりに努めてまいりたいと思っておりますので、ご指導をよろしくお願い申し上げます。

東1病棟 看護師長 宮崎 里美

熊本南病院から配置換えで参りました、東1病棟の宮崎里美と申します。以前菊池恵楓園に勤務しており、病院の前を通ることはありましたが、満開の桜の中を通り病院に入ることは初めてでした。少し不安な気持ちを抱えて参りましたが、満開の桜と優しい皆様に迎え入れて頂き、希望へと変わりました。小児科病棟は初めてで、慣れないことも多く御迷惑をおかけしていますが、今年、新棟建て替え移転もありますので、早く慣れて地域医療に少しでもお役に立てるように、頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

手術室・中央材料室 看護師長 坂本 めぐみ

はじめまして。このたび手術室・中央材料室看護師長に着任いたしました坂本です。

前任地は宮崎東病院でしたが、生まれも育ちも熊本ですので、地元に戻って来た、という安心感があります。着任初日、期待と不安を胸に出勤した際、病院敷地内の見事な桜に感動いたしました。その桜の木々の向こうに建つ新病院を見て、不安よりも期待感が強まり、自分に何ができるか、何をすべきかを考えながら精一杯頑張ろう、と決意を新たにしました。

手術室は、周術期看護だけでなく、救急外来看護、検査介助（内視鏡、透視室検査、血管造影等）を担っています。看護師長として、看護の質向上と共に多職種連携を念頭に置きながら尽力していく所存です。どうぞよろしくお願い致します。

入退院支援 看護師長 稲田 有里

4月1日付けで、長崎医療センターより異動して参りました、入退院支援室の稲田有里と申します。初出勤で、渋滞に遭遇し道に迷い、やっと熊本再春医療センターに着いて、きれいな桜に迎えられホッとしました。桜のアーチを抜けると新病院がそびえ立ち、今日から熊本再春医療センターの職員になるんだと、身の引き締まる思いが致しました。

入退院支援室では、予定入院患者さんが安心して入院生活を過ごしていただけるよう、入院から退院まで、外来や地域連携室、病棟と連携し協働しながらサポートしています。今後、先生方や医事課の皆様、病棟の皆様、多くの方々にお世話になると思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

院内でも何度も迷子になって、うろろろしていますので、見かけたときは優しく教えていただけると助かります。

東3病棟 看護師長 西山 慎吾

熊本医療センターより看護師長昇任で参りました西山慎吾と申します。

着任してまず感じたことは、あまりの敷地の広さに驚いたことや、緑が多くて思わず背伸びをするほど恵まれた環境だとうれしく思いました。中でも、満開の桜の美しさに感動したことをはっきりと覚えております。初めての異動で何もかもが分からず、皆様にはご迷惑をおかけすることが多いと思いますが、この皆様とご縁を大切に一緒に頑張っていきたいと思っております。一日一日精進して参りますので、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

■ 事務

事務部 事務部長 高尾 安則

この度4月1日付で事務部長を拝命し、満開の桜の下、過日着任いたしました。

地域医療機能推進機構（JCHO）九州地区事務所（北九州市）に4年間出向しておりましたので、5年振りの国立病院機構勤務となります。個人的には単身赴任6年目に突入し、主夫としての技術もかなり身に付いてきました。熊本県は宇城市にある熊本南病院以来、2度目の勤務となりますが、熊本の食事は私の好みにぴったりの味付け加減なので、とても楽しみにしております。

さて、当院は4月1日に病院名が変わり、また、6月には新病棟・外来棟が完成する予定です。完成後には新病院への移転作業という大イベントが待ち構えておりますが、患者の皆様を第一に対応していき、新生「熊本再春医療センター」として地域の皆様から更なる信頼を得られるよう全力を尽くしていきたいと思います。そして、皆様と楽しく仕事をしていきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

企画課 経営企画室長 麻生嶋 芳

この度、4月1日付の人事異動により経営企画室長として着任いたしました、麻生嶋 芳と申します。出勤初日に電車を降りると、建設中の新病棟の大きさに感動と期待を覚えたところでした。

熊本には観光で来たことがある程度で、まったく土地勘もなく、読めない地名に悩まされているところですが、街の雰囲気や私の出身地の大阪とそれとなく似ていて好きになれそうです。

趣味は、カメラと料理と資格取得に旅行です。熊本の郷土料理などもこれから楽しんでいきたいと思います。

さて、今回は医事の業務に携わることとなりましたが、幸いにも医事の経験はございますので、これまでの経験を活かし、新しいことにも積極的にチャレンジしていきたいと思います。

最初の内は新しい職場と慣れない業務にご迷惑をお掛けすることもあるかと存じますが、ご指導ご鞭撻のほど、何卒宜しくお願い致します。